

ほっかいどう

広報紙

北海道のいまを知る、明日へつながる



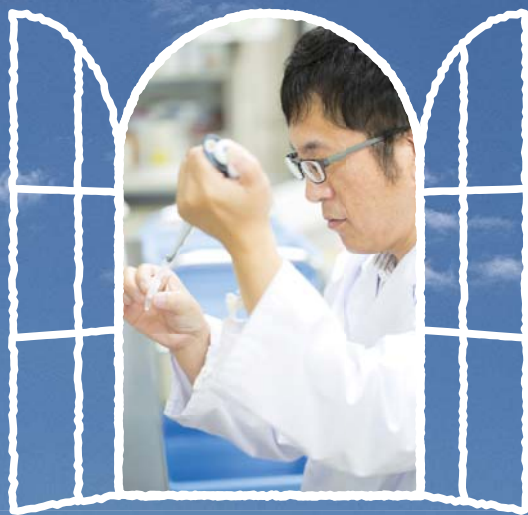
北海道新幹線開業PRキャラクター どこでもユキちゃん



【特集】北海道の未来を支える総合研究機関「道総研」

研究テーマは、夢のある北海道づくり。
私たちの暮らしや産業の未来を見つめ、
地域に役立つ研究を続けています。

北海道の素晴らしい価値をもっと生かそうと、
道内各地で幅広い研究が行われています。
北海道の未来への扉を開く総合研究機関、道総研の取り組みを紹介します。



※写真提供:道総研

「道総研」って、どんなところ?

「道総研」という名前を聞いたことがありますか。地方独立行政法人 北海道立総合研究機構(略称:道総研)は、古くは明治時代から道庁に設置されてきた22の道立試験研究機関の一つにして、平成22年4月に誕生した総合研究機関です。

北海道の暮らしや産業をもっと豊かで元気のあるものにしようと、農業、水産業、林業、工業、食品産業、環境、地質、建築といった幅広い分野で研究や技術支援を行っています。

活動を担う職員は約1,100人。運営予算の大部分は、設立者である道から交付されています。

夢のある北海道づくり、進行中。

道総研では、暮らしやすさの向上や、道内の産業の活性化などのために、年間700もの研究を進めています。

北海道が抱える大きな課題の解決を目指す「戦略研究」や「重点研究」では、道の重要な施策や道民の皆さんのニーズを踏まえ、食やエネルギーなど、重点的に取り組むテーマを決めています。こうした研究では、道総研の職員が分野を超えて連携し、さらに大学や企業などの協力も得ながら取り組んでいます。

北海道にとって大事な、縁の下の力持ち。

道総研が取り組む研究の成果は、新製品の開発など比較的わかりやすいものから、目立たないながらも暮らしや産業に密接に関わっているものまでさまざまです。

昨年竣工した「北辰丸」など3隻の試験調査船による水産資源の調査研究も北海道を支える研究の一つ。サンマなど主要魚類の資源量の把握や漁場の環境調査を行うなど、北海道の水産業を支えています。

道総研では、道民の皆さんの信頼や期待に応えるため、日々こうした研究開発に取り組んでいます。



昨年11月に竣工した試験調査船「北辰丸」

最近の研究成果の例



北海道米はおいしいという評判を高めた「ゆめぴりか」の開発



絶滅しかけた高級魚マツカワの稚魚生産や放流技術を開発し、資源の復活に成功



廃棄物のホタテ貝殻を再利用し、書き味や発色に優れたチョークを開発



人間との共存を目指したヒグマやエゾシカなどの生態や個体数管理に関する研究

【道総研の組織】

<p>●本部</p> <p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構本部(札幌市)</p>	<p>●水産研究本部</p> <p>中央水産試験場(余市町) 函館水産試験場(函館市) 釧路水産試験場(釧路市) 網走水産試験場(網走市) 稚内水産試験場(稚内市) 栽培水産試験場(室蘭市) さけます・内水面水産試験場(恵庭市)</p>	<p>●産業技術研究本部</p> <p>工業試験場(札幌市) 食品加工研究センター(江別市)</p>
<p>●農業研究本部</p> <p>中央農業試験場(長沼町) 上川農業試験場(比布町) 道南農業試験場(北斗市) 十勝農業試験場(芽室町) 根釧農業試験場(中標津町) 北見農業試験場(訓子府町) 畜産試験場(新得町) 花・野菜技術センター(滝川市)</p>	<p>●森林研究本部</p> <p>林業試験場(美瑛市) 林産試験場(旭川市)</p>	<p>●環境・地質研究本部</p> <p>環境科学研究センター(札幌市) 地質研究所(札幌市)</p>
		<p>●建築研究本部</p> <p>北方建築総合研究所(旭川市)</p>

【8つの研究分野】



クイズで知ろう北海道
Q.これは何のマーク?



北海道認定

答えは中面下に

北海道の未来を支える 総合研究機関「道総研」

「ほっかいどうの希望をかたちに！」を合言葉に、 新たなアイデアと技術が続々登場！

道総研の幅広い研究の中から、具体的な成果を紹介します。

▶特集に関するお問い合わせは、
道総研連携推進部 ☎(011)747-2804 札幌市北区北19条西11丁目
道総研のホームページ [道総研](#) ※写真提供：道総研

食のブランド力を育てています。

農作物新品種の生みの親

道総研では、北海道の各地域に適した農作物の新品種や栽培技術の開発、家畜の飼料づくりや育て方、食の安全などに関する試験研究などを行っています。中でも、農業試験場は前身も含めると明治時代から100年以上の歴史があり、北海道農業の発展に大きく貢献してきました。現在、北海道で作付されている水稲、小麦、大豆などのほとんどは農業試験場が開発した品種です。

優れた品種を育てるため、北海道米の挑戦は続きます。



農業研究本部 研究主幹 佐藤 毅さん

上川農業試験場では、これまでに78種類の道産米新品種を世に送り出していますが、私は2008年に誕生した「ゆめぴりか」の開発に携わりました。開発にあたっては、年80〜90種類の稲の交配をし、15〜20万株を育て、より優れたものだけを残します。良い品種の条件は、食味が良く、寒さや病気に強く、収量が安定していること。ゆめぴりかの最大の魅力は食味で、甘み、つや、粘りなどは本州のお米に引けをとりません。それでも北海道米の挑戦はこれから勝負。食味のすばらしさと同じく、寒さと病気に強い耐性を高め、十分な収量が見込める品種を育てる必要があります。そのため、研究の手を休まず、明治から培ってきたおいしい道産米への探求心を絶やさないことが大切だと思います。

交配試験中の稲

まだまだあります！

「食」の取り組み

- 魚離れを食い止めるプロジェクト
子どもたちの魚離れの原因の一つは、魚のおいしさを伝えている。道総研では、魚のおいしさを伝える魚の血合いを取り除く機械の開発や、チーズの製造でできるホエー(乳清)に漬けておいしさを減らした「ホエー漬けのサバ」の商品化への支援などを行っています。
- 道産豆をおいしく活用
高イソフラボン大豆「ゆきぴりか」の特徴を引き出す味噌醸造技術を開発し、商品化につなげました。また、小豆の用途を広げようと、菓子やパンに使える小豆粉を開発。小豆粉のロールケーキが商品化されました。



ゆきぴりか北海道味噌

暮らしや産業に役立っています。

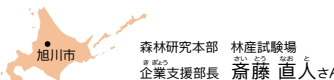
新技術で生まれ変わる道産木材

日本の森林面積の約22%を占める北海道では、戦後に大量に植えられたカラマツが収穫期を迎えています。従来、カラマツ材は強度があるため梱包材などに多く使われてきましたが、割れやねじれが出やすいことから、住宅用建材としては敬遠されてきました。収穫期を迎えたカラマツの活用は、北海道林業の大きな課題です。そこで道総研では、カラマツの資源量の予測を行うとともに、割れやねじれを技術で克服した乾燥材「コアドライ」を開発。さらに、木目を生かした内装材などを使ってカラマツの実力を示す実証住宅を建て、今後の普及のしくみを検討中です。このほかにも、JR旭川駅舎に使われている防火性能に優れた準不燃木材や、木材の耐久性を格段に高めた木製遊具などを開発し、道産木材の活用を進めています。



木材の強度試験

道産木材の「地材地消」は北海道の活性化につながります。



旭川市 森林研究本部 林産試験場 企業支援部長 斎藤 直人さん

林産試験場では、木材の性能と加工技術、木材の化学的利用などに関する試験研究を行っています。木材専門の研究職員が大勢いる研究機関は世界でも珍しく、日本で唯一の木材総合研究所です。カラマツをはじめとした道産木材は、林業の再生を進める日本にとって重要な森林資源。北海道の木に囲まれ、北海道の技術を使った道産材の家に住むことが、森林資源の持続的な利用や産業の振興、北海道の活性化につながるよう願っています。また、技術支援を求める企業も多く、木に関する基礎情報の提供から事業化・商品化に至るまで、コストも踏まえたアドバイスをしています。

まだまだあります！

「暮らしと産業」の取り組み

- UDスコップ、アシストスーツ
雪かきの姿勢を改善し、腰の負担を軽減するため、柄がS字形状の「UDスコップ」を開発。また、コンブ干しなど前かがみになる作業での腰の負担を軽減する「アシストスーツ」を開発しました。
- 北国の生活に適した住まいづくり
積雪寒冷の北海道に適した「北方型住宅」を開発。さらに省エネ・耐久・耐震といった住宅の基本性能を確保できる高い技術を持った事業者の登録や、住宅性能のわかりやすい表示などにより、消費者に安心して良質な家づくりを提供する新しい北方型住宅制度「きた住まい」がスタート。その普及を進めています。



UDスコップ アシストスーツ

北方型住宅

自然との共生は、大切な課題です。

災害に強い地域づくり

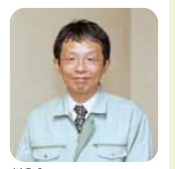
地震や火山噴火などの災害が繰り返されてきた北海道で、道民の皆さんの安全な生活を守ることは重要な課題です。道総研では、これまでの道内活断層の調査研究に加え、東日本大震災を受けて、津波災害履歴の研究をスタート。気象庁や大学などと連携して、道内5つの活火山の地殻変動などの調査・観測を進めています。また、地すべりなど斜面災害では、その予測に関する研究も進めています。さらに、市町村への地震防災マップの作成技術の提供や防災教育、東日本大震災被災地での住宅再建の支援など災害に強いまちづくりに取り組んでいます。

豪雨による土砂災害を少しでも減らしていきたい。

私の研究分野である地すべりは、山がゆっくり動くようなものから、がけ崩れのように短時間に起きるものまでさまざま。特に近年目立つのが、豪雨による地すべり災害です。昨年夏、礼文島で発生した土砂災害はその典型といえます。気候変動によって、もともと雨の少なかった道北や道東で豪雨が繰り返され、斜面にたまって土層が崩れやすくなる傾向が見られます。こうした豪雨時の斜面崩壊のメカニズムを解明するため、この春から道北・幌延町の傾斜地で、斜面の地質と地下水などが地すべりにどう影響するかを調査します。土砂災害の減少に向けて、今後も研究に取り組んでいきます。



礼文島での豪雨による斜面崩壊の調査



環海・地質研究本部 地質研究所 主任 石丸 聡さん

まだまだあります！

「自然」の取り組み

- ヒグマ、エゾシカ等の調査
野生動物の適正な保護管理を行うため、エゾシカやヒグマなどに関する地域ごとの生息動向に関する調査や、農作物や森林等の被害防除に関する調査研究などを行っています。



生息動向調査で観察されたエゾシカ

技術支援や共同研究のパートナーになります！

お気軽にご相談を！

道総研では、幅広い研究分野で蓄積した技術やノウハウを生かし、企業や生産者の皆さんの研究開発を支援しています。技術相談や技術指導、試験・分析・測定などの依頼試験、試験設備の使用など、技術支援のしくみはさまざまです。また、製品開発などに取り組む企業等からの依頼により、道総研と企業等が知識・技術・ノウハウを持ち寄り、分担して研究を進める共同研究制度などもあります。下記の総合相談窓口をお気軽にご利用ください。

総合相談窓口 ☎(011)747-2900 FAX(011)747-0211
※ご相談は無料です。 hq-soudan@hro.or.jp

共同研究と技術指導を通じて、親身な対応に励まされました。



(株)電制 取締役 開発部長 須貝 保徳さん



あご下周辺に当てて使う「ユアトーン」

当社は17年前、道総研をはじめ産学官連携の共同研究によって、電気式人工喉頭「ユアトーン」を開発しました。これは、喉頭がなどで声を失った方の発声を補助する器具。抑揚やゆらぎなど声に関する徹底的な分析と、ニーズに基づく試作・改良を経て、現在では国内トップシェア商品に成長しました。このほか、道総研の技術指導により開発した音声生成アプリ「ゆびで話そう」は、画面をタッチすると声が出て、筆談よりテンポよく会話を楽しめます。いずれも納得のいく商品開発ができたのは、道総研の皆さんの親身な対応のおかげだと感じています。



筆談代わりに使える「ゆびで話そう」

道からのお知らせ

赤れんが

お問い合わせは▶マークの窓口、またはホームページへ。

雪解け時期の事故防止

落雪などから身を守りましょう

例年、雪が解けるころ事故が発生しています。事故にあわないよう次のことを心がけてください。

- 軒先を歩くときは落雪に注意
- 空き家(倉庫や納屋)に近づかない
- 増水した川には近づかない
- 急な斜面には近づかない
- 大雪警報、なだれ・融雪注意報などの気象情報に注意

▶道庁危機対策課 ☎(011)204-5008

1月に施行の改正土砂災害防止法や土砂災害危険箇所のお知らせはこちら

河川砂防課 土砂災害

▶道庁河川砂防課 ☎(011)204-5560

自動車税のグリーン化税制について

平成27年度分の自動車税から、新車新規登録から一定年数経過した自動車に対する重課割合が次のとおり変更となります(バス・トラックは変更ありません)。

平成26年度	平成27年度
税率を概ね10%上乗せ	税率を概ね15%上乗せ

4月1日現在、新車新規登録後

- ・13年を超えるガソリン車、LPG車
- ・11年を超えるディーゼル車

なお、環境負荷の小さい自動車に対する軽課割合も変更となります。詳しくは道税ホームページをご覧ください。札幌道税事務所までお問い合わせください。

▶札幌道税事務所自動車税課 ☎(011)746-1190

▶道庁税務課 ☎(011)204-5062

3月29日(日)道東自動車道 浦幌IC～白糠ICが開通

釧路方面がより身近になります

北海道横断自動車道(道東自動車道)の浦幌IC～白糠IC間26kmが開通します(通行無料)。平成27年度には白糠IC～阿寒IC間14kmが開通予定です。釧路方面へのドライブに役立つサイトも公開中です。どうぞご利用ください。

オールくるドライブガイド

▶釧路総合振興局地域政策課 ☎(0154)43-9147

振り込め詐欺にご注意

怪しい電話を受けたら、まず相談を

「ゆうパック、レターパック、宅配便で現金を送って」「名義を貸して」などの電話は、詐欺の疑いがあります。電話があったら、警察相談電話「#9110」へ連絡してください。家族や地域の絆を深め、特殊詐欺被害に注意しましょう。▶道警本部生活安全企画課 ☎(011)251-0110(内線3026)

北海道博物館が誕生します

4月18日(土)オープン。お待ちしております

北海道開拓記念館と北海道立アイヌ民族文化研究センターがひとつになり、北海道の自然や歴史、アイヌ文化などを楽しく知ることができ博物館がオープンします。館内には、昔の人の知恵や自然の不思議などを体験しながら学べる「はっけん広場」もあります。

▶住所:札幌市厚別区厚別町小野幌53-2(旧 北海道開拓記念館)

▶3/31まで 北海道開拓記念館 ☎(011)898-0456

4/1以降 北海道博物館 ☎(011)898-0466

総合振興局・振興局ニュース

道内各地の話題をお届けします。

重さ1トンのそりを曳くビッグレース

▶地域政策課 ☎(0155)26-9022

十勝総合振興局

「ばんえい記念」で、十勝の馬文化を体験しよう。

体重1トンもの大きな馬が、重い鉄のそりを曳いて力と速さを競う「ばんえい競馬」。その最も大きなレースである「ばんえい記念」を3月22日(日)に開催。

レースの日には、厩舎などのバックヤードツアーや、朝調教ツアーも開催され好評です(予約制)。北海道遺産にも選定された迫力のレースや、馬とのふれあい体験を通じて、十勝の馬文化を感じてみませんか。多くの皆様のお越しをお待ちしています。

ばんえい競馬

▶地域政策課 ☎(0155)26-9022

開業まであと1年！ 北海道新幹線 開業1年前ニュース

北海道新幹線は、新青森から札幌までの約360kmに及び、2015年度末に予定される新青森・新函館北斗間の開業に向けて、試験走行が行われています。また、新函館北斗・札幌間は、開業時期を5年前倒して、2030年度末開業を目指しています。

H5系のシンボルマーク

北海道新幹線開業PRキャラクター どこでもユキちゃん

外装デザイン
車体は緑・白を基本に、ランデナーを思わせる紫のライン。提供:JR北海道

内装デザイン
シートはグランクラス(写真)、グリーン車、普通車の3タイプ。

駅舎
建設中の新函館北斗駅(2月3日撮影)

駅とルート
新青森・新函館北斗間 2015年度末開業予定

イベントも続々開催。詳しくはこちら！ [北海道新幹線開業NAVI](#)

フェイスブック <https://www.facebook.com/h.shinkansen.navi> LINE @dokodemoyukichan

▶道庁新幹線推進室 ☎(011)204-5333

ひ さい ひ なん みな
 ひがしにほんだいしんさい
 東日本大震災から4年を迎えました。

被災避難者の皆さんとともに

東北や関東などから、いまなお2,563人の方が道内に避難されています(2月12日現在)。道では、市町村や支援団体、当事者団体の方と手を携え、避難されている方々の心に寄り添った支援を続けていきます。

交流の場「サロン・ド・からから」をご利用ください。

(一社)北海道広域避難アシスト協会では、避難されている方や支援する方が自由に集い、交流できる常設のスペースを運営しています。被災地の地元紙など各種資料を備えているほか、交流会なども開催しています。

- 住所/札幌市豊平区 月寒西1条7丁目1-11
- TEL・FAX/(011)826-4098
- 利用時間/平日10~17時



起業勉強会も開かれています

「ふるさとネット」への登録・変更手続きをお願いします。

道内に避難されている方に、さまざまな情報を提供したり、戸別訪問などを行う避難者登録システムです。新規登録に加えて、道内で転居される場合、故郷に戻られる場合も、お住まいの市町村で変更手続きをお願いします。

ふるさとネット 検索

▶道庁地域政策課 ☎(011)204-5800

被災地へのメッセージを込めて「きぼうのプール」を贈りました。

道では、企業や団体の協力を得て、被災地への応援メッセージ入り「きぼう(木棒)」を集めた木製遊具「きぼうのプール」を贈るプロジェクトを行っています。

昨年12月には、宮城県のNPO法人と、岩手県久慈市の保育園に遊具として贈呈。子どもたちが次々と中に入り、目を輝かせながら遊んでいました。



大喜びの子どもたち

これからも、メッセージ入りの木育イベントなどで道民の皆さんからのメッセージを集めて、この取り組みを続けていく予定です。

▶道庁森林活用課 ☎(011)204-5515

道議会だより

定例会の概要などをお知らせします。

平成26年第4回定例会 (11/26~12/19)

招集日には、閉会中に委員会で審査していた決算案件4件のうち3件を意見を付し認定議決、1件を認定議決しました。

最終日には、知事から提案された予算案3件、条例案24件、その他の案件7件の34案件を原案可決、予算案件1件を承認議決、その他5件の案件について報告がなされました。

また、議員及び委員会から提出された意見案9件が可決されました。

可決された意見案

- 農業委員会改革に関し慎重な議論を求める意見
- 私立専修学校に関する新学校種の創設と財源措置に関する意見
- 外形標準課税の中小企業への適用拡大時期等について慎重な判断を求める意見
- 若者の「使い捨て」が疑われる企業等に対する指導監督等の強化等を求める意見
- 少人数学級の取り組みの充実・強化及び教職員定数の改善等を求める意見
- 将来にわたり安全・安心な医療制度の提供を求める意見
- 地域雇用政策に関する施策の充実・強化を求める意見
- 農協系統組織の自己改革を十分尊重すること等を求める意見

日ロフェリー定期航路の存続支援を求める意見

本会議の一般質問では、14人の議員が道政上の諸課題について活発な議論を行いました。主な質問項目は次のとおりです。

道内におけるアベノミクスの影響、地方創生、新北海道総合計画、経済・雇用対策、地域対策・人口減少対策、エネルギー政策、原発政策、北海道新幹線、新千歳空港の24時間運用、医療・福祉対策、高齢化福祉、子ども・子育て対策、農業振興、水産振興、農業委員会改革、道民の健康づくり、女性の活躍、ネットトラブル防止の取組、エゾシカ対策、道立病院、生涯学習基本構想、不登校対策、学校統廃合、土曜学習、学校給食、特別支援教育、道德教育の充実 など

~ホームページをご覧ください~

道議会ホームページでは、議会の日程、議会中継、本会議の審議概要や会議録、議員名簿、変更された選挙区・定数、傍聴・見学のご案内、請願・陳情提出のご案内など、さまざまな情報をご覧いただけます。

北海道議会 検索

~北海道議会Twitterのご案内~

北海道議会に関する情報を、より多くの道民の皆さんにより早く知っていただくため、ホームページと連動しながら、Twitterによる情報発信を行っています。皆さんのフォローをお待ちしています。

URL <https://twitter.com/hokkaidogikai>

▶議会事務局政策調査課 ☎(011)204-5691

北海道 おいしいプレゼント!

(株)もりもと「北海道高級最中 きたろまん」(9個入)をプレゼント! 十勝農業試験場が開発した小豆の新品種「きたろまん」を使用。中央農業試験場の協力で風味が良い粒を厳選しています。



抽選で30名様

●当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。

次のアンケートに答えて道産品を当てよう!

3月号の中で興味を持ったのは、どの記事ですか。

- ①特集(道総研) ②道からのお知らせ 赤れんが
 ③総合振興局・振興局ニュース ④北海道新幹線

●応募方法:アンケートの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本紙への意見・感想を記入の上、ハガキ、パソコンまたは携帯サイトでご応募ください。

●応募先 ハガキ 〒060-8588(住所不要)北海道広報広聴課「北海道おいしいプレゼント!」係 携帯サイト

パソコン 広報紙「ほっかいどう」 検索

●応募期限 3月20日(金)必着
 応募いただいた方の個人情報は、当プレゼントの発送以外には使用いたしません。



北海道の人口	総人口	男	女
平成26年12月末	5,432,200人	2,568,499人	2,863,701人
前年同月比	31,403減	16,340減	15,063減

※人口は年4回公表される統計資料に基づき直近のデータを掲載しています。

●掲載記事の関連ページ、広報紙アンケート結果、広報紙のバックナンバーなどの閲覧は下記からアクセスできます。

広報紙「ほっかいどう」 検索



みんなの文字

この印刷物は環境に優しい植物性インキと古紙配合率70%再生紙を使用しています。本文には見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

次号のお知らせ

次号は5月に配布予定です。



お知らせ 北海道のご当地情報満載! 北海道のメールマガジン「Do・Ryoku(動・力)」は毎週金曜配信です。

メルマガ 動・力 検索

広告